

連合「なんでも労働相談ダイヤル」（☎0120-154-052）
2017年7月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体の件数は前年同月・前月と比べて減少したが、1,000件を超える相談が寄せられている。年代では40代が最も多い。次いで多い30代では前年同月から件数・割合ともに増加している。

■業種別では、「医療・福祉」が17.2%と3ヵ月連続で最も多く、次いで「製造業」（15.6%）、「サービス業」（15.1%）となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が12.4%と5ヵ月連続で最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」（9.3%）、「雇用契約・就業規則」（7.6%）となっている。また、相談における情報源・ルートについては、ホームページとの回答が半数を占めている。

■具体的な相談では、「自分だけでなく、言い返すことのできない弱い立場の人に対してパワハラを繰り返している。社長がワンマンで、何か言うと辞めさせられるため、誰も何も言わない」「上司から嫌がらせや暴言、殴られるなどのパワハラを受け、退職を強要されている」といったハラスメントやそれに関連する雇用契約についての相談が多く寄せられた。

		2017年		2016年			
集計対象期間		7月1日～7月31日		7月1日～7月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,047		1,149			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	558	53.3%	男性	622	54.1%	
	女性	489	46.7%	女性	528	45.9%	
年代 (不明除く)	10代	8	1.0%	10代	6	0.7%	
	20代	90	11.2%	20代	127	15.1%	
	30代	193	24.1%	30代	181	21.5%	
	40代	260	32.4%	40代	279	33.1%	
	50代	173	21.6%	50代	175	20.8%	
	60代	65	8.1%	60代	63	7.5%	
	70代	13	1.6%	70代	12	1.4%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	531	54.1%	正社員	595	56.5%	
	パート	152	15.5%	パート	175	16.6%	
	アルバイト	60	6.1%	アルバイト	53	5.0%	
	派遣社員	64	6.5%	派遣社員	54	5.1%	
	契約社員	76	7.7%	契約社員	73	6.9%	
	嘱託社員	11	1.1%	嘱託社員	6	0.6%	
	臨時・非常勤職員	4	0.4%	臨時・非常勤職員	5	0.5%	
	その他	83	8.5%	その他	92	8.7%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	132	17.2%	製造業	135	16.9%
	2位	製造業	119	15.6%	卸売・小売業	126	15.8%
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	115	15.1%	医療・福祉	114	14.3%
	4位	卸売・小売業	91	11.9%	サービス業(他に分類されないもの)	117	13.6%
	5位	運輸業	69	9.0%	運輸業	82	10.3%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	130	12.4%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	136	11.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	97	9.3%	解雇・退職強要・契約打切	124	10.8%
	3位	雇用契約・就業規則	79	7.6%	退職金・退職手続	91	7.9%
	4位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	70	6.7%	雇用契約・就業規則	88	7.7%
	5位	年次有給休暇	66	6.3%	年次有給休暇	65	5.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	20	2.3%	/			
	ラジオ・テレビ	30	3.4%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	110	12.4%				
	ホームページ	451	50.8%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	20	2.3%				
	紹介(労基署等)	58	6.5%				
	その他	199	22.4%				